

第 1 章

テキストファイルを TeX に

本章では、事前に作成した殴り書きのテキストファイルを TeX の記述方式に倣って修正を行う。最初に技術面で行なったことを説明し、その後、*Silk-Re:road* 効果やはたらきについて説明する。

1.1 技術面

Silk-Re:road に実装されている、Web ページやクイズのシステム等は HTML5, CSS3, JavaScript を用いて作成した。具体的な概要は各機能に分け以下に示す。

1.1.1 レスポンシブページ

作成した Web ページには CSS の @media を用いることでスクリーン (画面, ウィンドウ) の縦横比を検知させている。これによりページを開いているスクリーンが縦長であれば縦画面用のページが表示され、横長であれば横画面用の画面が表示される (図 1.1, 図??)。

縦横比による画面切り替えの記述は以下に示す。

縦画面表示

```
@media screen and (orientation: portrait) {  
  header {  
    margin: 0;  
    padding: 0;  
    text-align: center;  
  }  
  .title {  
    width: 80%;  
  }  
  .center {  
    position: absolute;  
    top: 30%;  
    left: 50%;  
    transform: translateX(-50%);  
    -webkit-transform: translateX(-50%);  
    -moz-transform: translateX(-50%);  
    z-index: 1;  
  }  
  ~以降スタイルの記述~  
}
```

横画面表示

```
@media screen and (orientation: landscape) {  
  header {  
    margin: 0;  
    padding: 0;  
    text-align: center;  
  }  
  .title {  
    width: 15%;  
    height: 3%;  
  }  
  .center {  
    position: absolute;  
    top: 13%;  
    left: 50%;  
    transform: translateX(-50%);  
    -webkit-transform: translateX(-50%);  
    -moz-transform: translateX(-50%);  
    z-index: 1;  
  }  
  ~以降スタイルの記述~  
}
```

また、ページ内には背景やキャラクター画像が配置されるスペースやテキストが表示されるボックスを配置しており、それぞれの要素に対してスクリーンに合わせた大きさになるように設定を行っている。

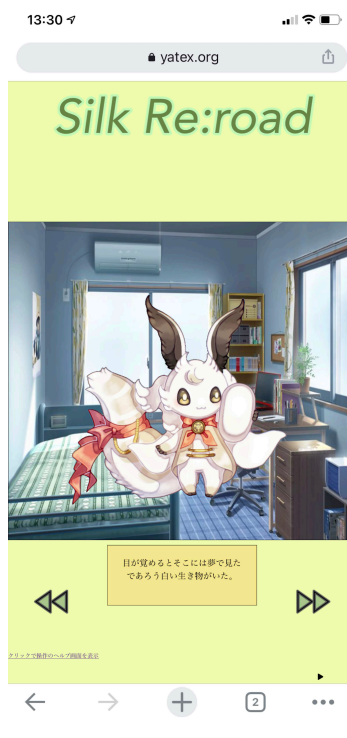


図 1.1 縦画面